

2015年 3月 20日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

- 商品名；脂質キャリブレターD  
脂質コントロール I・II
- 会社名；デンカ生研株式会社  
住所 新潟県五泉市木越字鏡田 1359 番地 1  
担当部門 信頼性保証本部 品質保証部  
電話番号 0250-43-4136 ファックス番号 0250-43-3789  
緊急連絡番号 0250-43-4136

- 商品番号；

商品番号	内容及び包装
562128	脂質キャリブレターD 1 mL用×5
561350	脂質コントロール I 1 mL用×10
561367	脂質コントロール II 1 mL用×10

- 用途；脂質項目測定用のキャリブレター又はコントロール
- SDS 整理番号；562128-08

### 2. 危険有害性の要約

- GHS 分類；  
物理化学的危険性：分類できない。  
健康に関する有害性：区分外  
環境に対する有害性：区分外
- GHS ラベル要素；  
シンボル：適用外  
注意喚起語：なし。  
危険有害性情報：適用外  
注意書き：適用外
- 他の危険有害性；  
本品はヒト血清成分を使用している。本品に使用しているヒト血清成分について、HIV-1 及び HIV-2 抗体、HBs 抗原、HCV 抗体が陰性であることを検査確認してあるが、ウイルス及び細菌感染の危険性があるものとして取扱う。

### 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別；混合物
- 成分及び含量；

成分	含量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ヒト血清成分	約 100%	---	---

### 4. 応急措置

- 吸入した場合；空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合；多量の水と石鹸でやさしく洗うこと。  
必要に応じて医師に連絡すること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

- ・目に入った場合；直ちに医師に連絡すること。  
清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・飲み込んだ場合；直ちに医師に連絡すること。  
清浄な水で口の中をよくすすぐこと。無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

- ・消火剤；水噴霧，泡消火剤，乾燥砂類
- ・使ってはならない消火剤；情報なし。
- ・特有の危険有害性；火災時に刺激性，腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。  
蒸気又は粉じんが空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。

## 6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置；  
作業の際には，保護具（ゴム手袋等）を着用し，飛沫等が皮膚に付着したりしないようにする。  
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
- ・環境に対する注意事項；漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- ・封じ込め及び浄化方法及び機材；  
吸着剤（ペーパータオル等）に吸着させ，取り除いた後，水でよく拭き取る。  
密閉できる容器に回収し，後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い；  
技術的対策 保護眼鏡，保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
安全取扱注意事項 眼，皮膚，又は衣類につけないこと。  
取扱い後の休憩時には，手をよく洗うこと。  
休憩場所には，手袋等-の汚染された保護具を持ち込まないこと。  
みだりにエアロゾルが発生しないように取り扱うこと。  
飲み込まないこと。  
接触回避 情報なし。
- ・保管；安全な保管条件 遮光して 2～10℃に保存する。  
安全な容器包装材料 本品に使用されている容器にて保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度（ばく露限界値，生物学的ばく露指標）；情報なし。
- ・設備対策；本品を扱う作業場には，洗眼器，安全シャワー，全体換気装置，局所排気装置を設置することが望ましい。
- ・保護具；呼吸器の保護具 適切なマスクを着用する。  
手の保護具 適切な保護手袋を着用する。  
目の保護具 適切な保護眼鏡を着用する。  
皮膚及び身体の保護具 白衣その他，検査を行うに適切な服装をする。
- ・特別な注意事項；情報なし。

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・物理的状态；形状：固体（凍結乾燥）

色：白色又は薄い黄色

- ・臭い；なし
- ・溶解性（水）；易溶
- ・他の物理的及び化学的性質；混合物でデータなし。

### 1 0. 安定性及び反応性

- ・安定性；遮光して 2～10℃の保存で安定
- ・危険有害反応性；通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
- ・避けるべき条件；直射日光、熱、衝撃、振動
- ・混触危険物質；情報なし。
- ・危険有害な分解生成物；データなし。

### 1 1. 有害性情報

- ・GHS 分類；  
物理化学的危険性：分類できない。  
健康に関する有害性：区分外

### 1 2. 環境影響情報

- ・GHS 分類；  
環境に対する有害性：区分外

### 1 3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物；  
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。  
本商品を用いての試験後の廃液にはヒト由来検体が含まれるため、ウイルス等による感染を考慮する必要がある、本品の添付文書等を参照し、消毒等の処理後廃棄する。
- ・汚染容器及び包装；  
容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

### 1 4. 輸送上の注意

- ・国際規制；  
海上規制情報 IMO の規定に従う。  
航空規制情報 ICAO・IATA の規定に従う。
- ・国内規制；  
陸上規制情報 消防法、毒劇及び劇物取締法の規制に従う。  
海上規則情報 船舶安全法の規定に従う。  
航空規制情報 航空法の規定に従う。
- ・特別安全対策；  
食品や飼料と一緒に輸送しないこと。  
重量物を上積みしないこと。  
輸送中に容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。  
容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

### 1 5. 適用法令

- ・労働安全衛生法：非該当

- ・ 毒物及び劇物取締法：非該当
- ・ 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：非該当

#### **1 6. その他の情報**

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されておりますが、新しい知見により改訂されることがあり、含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、内容を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の実用性を対象にしたものなので、用途・用法に適した安全対策を実施した上、ご利用ください。